

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の 利用目的及び 利用方法≫	●研究の名称 急性大動脈症候群の治療成績に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2009年以降2020年6月までに当院心臓血管外科で急性大動脈症候群（大動脈瘤破裂・切迫破裂、大動脈解離破裂・切迫破裂・臓器灌流障害、大動脈外傷、その他緊急で観血的治療を要する大動脈病変）に対する外科治療を受けられた方 約200名
	●研究の目的 急性大動脈症候群（大動脈瘤破裂・切迫破裂、大動脈解離破裂・切迫破裂・臓器灌流障害、大動脈外傷、その他緊急で観血的治療を要する大動脈病変）は致命的病態ですが、従来外科手術の成績は必ずしも良好ではありません。このためガイドラインでは、可能な場合には胸部大動脈ステントグラフト治療が推奨されており、当院でもとりくんできました。しかし胸部大動脈ステントグラフト治療には、対象とならない病態があるほか、一定の割合で無効例があります。 本研究は、急性大動脈症候群の手術結果に関わる要因を検討し、胸部大動脈ステントグラフト治療の至適病態や成績向上策を明らかにするために実施します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から（西暦）2025年3月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目 ≫</p>	<p>情報：年齢、性別、合併症、病態、画像所見、手術所見、手術成績、等</p>
<p>≪利用する者の範囲≫</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 鷲山 直己</p>
<p>≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫</p>	<p>浜松医科大学 外科学第一講座 鷲山 直己</p>
<p>≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)≫</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>≪資料の入手または閲覧≫</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>≪情報の開示≫</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>≪問い合わせ先≫</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 外科学第一講座</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

担当者： 鷲山 直己

TEL： 053-435-2276

E-mail： 07112957@hama-med.ac.jp